常陸太田市

令和６年３月

土砂災害ハザードマップ

17：里川町

がけ崩れ、土石流、地すべりなど、土砂災害のほとんどは長雨や大雨が引き金となって発生します。常陸太田市では土砂災害に対して市民の皆様がすばやく安全な場所に避難し、被害を最小限に抑えることを目的に「土砂災害ハザードマップ」を作成しました。
避難場所、災害に関する知識などを本ハザードマップを用いて確認して下さい。

お問い合わせ先：「常陸太田市役所　防災対策課」　TEL:0294－72－3111（代）/FAX:0294-72-3002
〒313-8611　茨城県常陸太田市金井町3690番地　URL:https://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/　E-mail:info@city.hitachiota.ibaraki.jp

このマップの使い方

このマップに自分の家や近くの避難場所までのルートを記入して、我が家の防災マップを作成しましょう。また、災害の発生時にどのように行動するかを日頃から話し合うことも重要です。

①自分の家を確認する
地図の道路や学校などの目標物を見付けて自分の家を確認しましょう。

②周辺の土砂災害警戒区域等を確認する
自分の家の周辺にある土砂災害警戒区域や土砂災害特別警戒区域を確認しましょう。

③避難する場所を確認する
地図に記載されている最寄りの避難場所の名称と場所を確認しましょう。

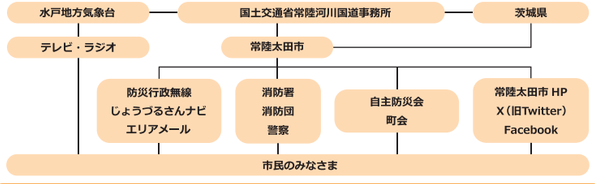
④避難経路を考える
自分の家から避難場所までの避難経路を考えましょう。できるだけ土砂災害警戒区域や河川・水路など大雨の時に危険な場所の少ない経路を選びましょう。

⑤実際に歩いてみる
地図を使って確認した避難場所までのルートを実際に歩いて、ルート上の目印や避難するときに注意すべき場所を確認しましょう。

⑥災害時の対応を話し合う
大雨が降った時、災害が発生した時、避難指示があった時、どのように行動するかを家族や近所の人と話し合って情報を共有しましょう。

洪水予報等、避難指示等の伝達方法

気象情報・洪水予報・避難に関する情報などは、次のような経路で市民のみなさまに伝達されます。



いざ！という時の連絡先

土砂災害の前触れや土砂災害が起きたら、こちらまでお知らせください。

機　関　名	所　在　地	電話番号
常陸太田市役所	金井町3690	72-3111
茨城県　常陸太田工事事務所	山下町4119	80-3360
太田警察署	馬場町1223	73-0110
常陸太田市消防本部	山下町1693	73-0119

ライフライン管理機関

機　関　名	電話番号
常陸太田市上下水道部	72-3111
東京電力	0120-995-007
ＮＴＴ東日本	113 または 0120-444-113

警戒レベルと住民がとるべき避難行動

危険な雨の降り方と強さの目安

激しい雨　1時間に30～50mm

バケツをひっくり返したような激しい雨。道路規制も行われ、避難の準備が必要です。

非常に激しい雨　1時間に50～80mm

滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。河川があふれる可能性がある激しい雨です。

猛烈な雨　1時間に80mm以上

滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。車や家屋等が水に浸かる可能性が強く、厳重な警戒が必要です。

■特別警報の種類

現　象	発表の基準		基準(参考値)
大　雨	台風や集中豪雨により、数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合		48時間雨量279mm 3時間雨量118mm 土壌雨量指数197
暴　風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合	－
高　潮		高潮になると予想される場合	－
波　浪		高波になると予想される場合	－
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合		－
大　雪	数十年に一度の降雪量となる大雪と予想される場合		－

出典：内閣府「防災情報のページ」避難情報に関するガイドラインの改定（令和３年５月）https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/

避難行動のポイント

災害時には、個々がおかれた状況に応じて、自らの判断で臨機に避難行動を取りましょう！

①土砂災害の事象に注意し、早めの避難をする。
②がけ崩れや土石流の起こる方向に対して横方向に避難する。
③夜中や大雨の中など外へ避難を行うのが危険と感じる時は、自宅２階以上の山の反対側の部屋など頑丈な建物の上階へ避難することも考慮する。
④記録的短時間大雨情報が発表された場合は、早めに避難を行う。
⑤土砂災害警戒情報が発表された場合は、すぐに避難を行う。

避難時の注意点

風や雨が強くなってきたら、ＴＶやラジオ、インターネットで情報を収集しましょう。

１人で避難せずに、隣近所と声を掛け合いながら避難しましょう。

危険が迫ったときは、防災行政無線などからの避難の呼びかけに注意しましょう。

裏面の危険箇所や浸水箇所を確認し、安全なルートで避難しましょう。

非常時持ち出し品と一緒にハザードマップを持って避難しましょう。

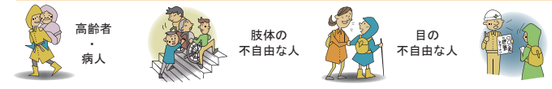
避難する前に、電気・ガスなどの火元を止め、避難所をもう一度確認しましょう。

避難経路はできるだけ高い道路を選び、浸水箇所があった場合は、溝や水路に注意しながら避難しましょう。

車での避難は、歩行者・緊急車両の妨げになるので、できる限り徒歩で避難しましょう。

避難が遅れたときは近くの丈夫な建物の浸水が及ばない階に逃げましょう。

避難時には、高齢者や病人などの要配慮者の避難に協力しましょう



「避難行動等のイラスト」(内閣府)https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/ を加工して作成

インターネット等での情報収集

情報内容	提供機関	アドレス・電話番号		備　考
防災情報	茨城県防災・危機管理部	パソコン	https://www.pref.ibaraki.jp/kurasu/bosai/index.html	茨城県の防災情報
災害情報	常陸太田市	パソコン	https://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/page/dir002625.html	常陸太田市の防災情報
			https://twitter.com/hitachiotacity	常陸太田市のＸ（旧Twitter）
			https://www.facebook.com/hitachiota.city/	常陸太田市のFacebook
		スマートフォン	アイフォンをご利用の方　アンドロイドをご利用の方	常陸太田市行政情報アプリ じょうづるさんナビ
雨量・河川の情報	国土交通省	パソコン	https://www.river.go.jp/	川の防災情報
			https://www.ktr.mlit.go.jp/hitachi/	常陸河川国道事務所
			https://disaportal.gsi.go.jp/	ハザードマップポータルサイト
		テレホンサービス	029-240-4102	那珂川・久慈川のリアルタイム雨量・水位情報
	茨城県土木部	パソコン	http://www.kasen.pref.ibaraki.jp/	雨量河川水位情報
土砂災害警戒情報	気象庁	パソコン	https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land/	土砂キキクルで、大雨警報・土砂災害の危険度分布が見られます
	茨城県土木部	パソコン	http://www.dosya.kasen.pref.ibaraki.jp/dosya/	お住まいの場所について、土砂災害発生のおそれのある地区かどうか調べられます。
気象情報	気象庁	パソコン	https://www.jma.go.jp/jma/index.html	全国の気象情報を確認出来ます。
防災行政無線の放送情報	常陸太田市	パソコン	https://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/page/page001940.html	防災行政無線放送内容の確認が出来ます。
		テレホンサービス	0294-72-8989	放送を聞くことができなかった場合、過去の放送内容を聞くことが出来ます。
			0120-189-891（フリーダイヤル）	

災害時に家族と連絡がとれない場合は…

災害時の声の伝言板

災害伝言用ダイヤル

災害時には電話が混雑し、家族と連絡が取れないことが多くあります。
そんなときは「171」をダイヤルし、利用案内に従って伝言の録音・再生を行ってください。利用の開始や録音件数（最大 10 件）など、利用条件については NTT が決定し、テレビ･ラジオなどを通じてお知らせします。
※一般電話・公衆電話・携帯電話・ＰＨＳから利用できます。

録音方法　１７１ → １ → 伝言を録音したい方の ０２９４ ＋ 自宅電話番号 または 携帯電話番号
案内放送が流れます

再生方法　１７１ → ２ → 伝言を再生したい方の ０２９４ ＋ 自宅電話番号 または 携帯電話番号
案内放送が流れます

体験利用日　毎月１日、15 日　０時～ 24 時
正月三が日（１月１日０時～１月３日 24 時）
防災週間（８月 30 日９時～９月５日 17 時）
防災とボランティア週間（１月 15 日９時～１月 21 日 17 時）

災害伝言板（web171 等）

大規模災害等が発生したときに、携帯･スマホ･パソコン等を利用して伝言の登録・確認ができる伝言板です。

・NTT 東日本・・・・・https://www.web171.jp/
・NTTdocomo・・・・http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi
・au（KDDI）・・・・・http://dengon.ezweb.ne.jp/
・SoftBank ・・・・・http://dengon.softbank.ne.jp/

登録方法
それぞれのアクセス先のメニューに従って入力を行ってください。
① メニューに表示される「災害伝言板」を選択
② 「登録」を選択
③ 「無事です」等の状態を選択し、100 文字以内のコメントを入力
④ 「登録」を押して完了

確認方法
それぞれのアクセス先のメニューに従って確認を行ってください。
① メニューに表示される「災害伝言板」を選択
② 「確認」を選択
③ 安否を確認したい人の携帯電話番号を入力
④ 「検索」を押して伝言を確認

マイ・タイムラインを作ろう（保存版）

災害から身を守るためには、状況を判断しながら適切に避難することが重要です。災害時の個人の防災行動計画（スケジュール表）であるマイ・タイムラインを事前に作っておくと、いざというときの避難に役立ちます。実際にこのページに記入して、家族それぞれが取るべき行動を共有しておきましょう。

家

マイ・タイムライン

● 自宅の危険性　▶ ハザードマップで確認

自宅の場所は
・浸水想定区域にある　□ はい　□ いいえ
「はい」の場合　浸水深は　　m　浸水継続時間は　　時間
・立退き避難区域にある　□ はい　□ いいえ
・土砂災害警戒区域　、土砂災害特別警戒区域　にある　□ はい　□ いいえ

● 避難場所　□ 指定避難場所　□ 親戚・知人宅　□ その他（　　）
（市が開設する避難場所は、災害の規模・種類によって変わります。複数の避難場所を検討してください）

・避難場所名等
・避難場所までの時間　（　車　・　徒歩　）

● 避難開始のタイミング（例）高齢者等避難開始

● どこに避難するか家族や親戚に伝える

・連絡先の電話番号

● 持ち物（例）

□ 飲料水　□ 食料　□ 携帯電話　□ ラジオ　□ 懐中電灯
□ マスク　□ アルコール消毒薬　□ 体温計　□ ヘルメット　□ ティッシュ
□ ウェットティッシュ　□ タオル　□ 着替え・スリッパ等　□ 軍手　□ 歯ブラシ、歯磨き粉
□ 健康保険証　□ お薬手帳　□ 服用中の薬　□ 現金　□ 雨具
□ 生理用品　□ 粉ミルク、哺乳瓶、離乳食　□ 紙おむつ、おしり拭き
□ お菓子　□ 子どものおもちゃ
□ その他（　　）

● 避難するときは

□ ブレーカーを落とす　□ 火の元やガスの元栓の確認　□ 避難済の目印（地域で決まっている場合）
□ 隣近所に声をかける（声をかける相手：　　）
□ その他（　　）

マイ・タイムライン

下記を参考に、家族全員が避難するのにかかる時間などを考えながら「いつ」「なにを」するべきか考えて記載してみましょう

主な備えまでのおおよその時間	行政から発信される情報	雨や川の状況	主な備え	備えの例
		台風が発生		
5日～2日前	台風に関する気象情報 台風の今後の見通し	まだ雨や風は強くない		・テレビ等の天気予報を注意 ・家族全員の今後の予定を確認 ・避難時に持っていく物の準備 ・家の周りの点検（飛ばされそうな物がないか）
1日前	大雨注意報・洪水注意報	雨や風が強くなる		・雨や川の様子をテレビやインターネットで確認
当日		・水防団待機水位到達（雨が集まって川の水がだんだん増える） ・はん濫注意水位到達（激しい雨で川の水がどんどん増えて、河川敷にも水が流れる）		・携帯電話の充電 ・避難しやすい服装に着替える ・雨や川の様子をテレビやインターネットで確認
	大雨警報・洪水警報 暴風警報 はん濫警戒情報発表 警戒レベル3 高齢者等避難開始（危険な場所にいる人） ・開設避難場所のお知らせ	・避難判断水位到達（避難情報の発令判断の目安であり、住民の避難判断の参考になる水位）		・避難情報を市の防災行政無線等から入手する ・避難先を選択 ・移動に時間のかかる人は避難
数時間前	土砂災害警戒情報 はん濫危険情報発表 警戒レベル4 避難指示（危険な場所にいる人は全員避難）	・はん濫危険水位到達（はん濫等により重大な災害が起こるおそれがある水位）		すぐに避難 避難を完了
0時間	はん濫発生情報発表	・はん濫発生		

土砂災害の種類

がけ崩れ

地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちる現象ががけ崩れです。突発的に起こり、瞬時にして崩れ落ちるので、逃げ遅れる人も多く、被害が大きくなります。

土石流

谷や斜面に溜まった土や石、砂などが、大雨による水と一緒に一気に流れ出して発生します。破壊力が大きく、また流れる速度が速いため、大きな被害をもたらします。

地すべり

比較的緩やかな斜面において、地中の粘土層などのすべり難い面が地下水などの影響で、ゆっくりと動き出す現象です。
一気に広範囲で発生するため、住宅や道路、鉄道などに大きな被害を及ぼします。

土砂災害の前兆現象

がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）

・がけから水が噴き出す。
・がけからの水が濁る。
・小石がパラパラと落ちて、がけから木の根が切れるなどの音がする。

土石流

・山鳴りや立ち木の裂ける音が聞こえる。
・石のぶつかり合う音が聞こえる。
・雨が降り続いているのに、川の水位が下がる。
・川の水が急に濁ったり、流木が流れてくる。
・泥臭いにおいが漂う。

地すべり

・山腹や地面にひび割れ・段差ができる。
・沢や井戸の水が濁る。
・斜面や地面から水が噴き出す。
・建物や電柱、樹木が傾く。
・井戸や野池の水かさが急激に変わる。

土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報は、大雨により土砂災害の危険度が高まった市町村を特定し、茨城県と水戸気象台が共同して発表する情報です。

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

土砂災害が発生した場合に、住民の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

土砂災害が発生した場合に、建築物の損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域

指定緊急避難場所・避難所一覧

里川コミュニティセンター	里川町117-1

：指定避難所

避難所生活の心得

避難所では、大勢の人と共同生活を送ることになります。不自由なことがたくさんありますが、互いに協力し合い、譲り合うことが大切です。避難所生活での主な一般的なマナーとルールは次のとおりです。

（１）共同生活の和を乱さないように、決められたルールや役割を守り、「自分たちのことは自分たちで」を基本に協力して生活しましょう。
（２）お互いのプライバシーを尊重し、大声を出したり、むやみに他人の場所に立ち入らないようにしましょう。
（３）室内は原則として火気厳禁・禁煙です。
（４）トイレは最も密接な共有施設です。汚してしまったら自分で清掃するようにしましょう。
（５）ごみの分別収集を徹底し、ごみ集積場は清潔に保ちましょう。
（６）介護が必要な方は、原則として家族が介護を行ってください。
（７）高齢者や障がい者、乳幼児を抱えた人など、多様な要配慮者への配慮が必要です。
（８）救援物資の配給は原則としては平等です。但し、緊急の場合は、高齢者や子供など要配慮者を優先して配給します。
（９）避難所から別の場所へ移動するときには、必ず避難所の運営組織に届け出てください。

避難先は小中学校・公民館だけではありません

安全な親戚・知人宅やホテル・旅館に避難することも考えてみましょう。

近隣の安全な親戚や友人の家等へ避難する場合のポイント

●ハザードマップで安全性（土砂災害警戒区域の外にあるか）を確認しておく
●移動時間を考慮して避難行動開始のタイミングを考えておく